

# 「突然攻められたら？」 「台湾有事が起きたら？」

中国が台湾を攻撃すること

他国と関わりながら経済を進めるグローバル化の時代に、戦争を始めるといことは、その関係を断ち切ってしまうということです。今、日本が突然攻められたり、中国が台湾を攻撃したりということは、あまり考えられません。

それにもかかわらず、南西諸島はじめ各地の自衛隊や米軍基地が強化されているのは、何かのきっかけで米軍が戦闘を開始した場合に、「集団的自衛権」を発動してそれに参加するためです。そんなことをしたら、日本全土が反撃の対象となり、戦争に巻き込まれてしまいます。

そんな戦争の準備やめようよ



## おもな原子力発電所



万が一、このうちの1つでも着弾したら日本全体に被害が及んでしまいます。戦争は止めるしかありません。

## 「他国が怖がるくらい大きな軍備を持てば大丈夫」?!

軍備拡大が戦争の「抑止力」になるという考えは、軍拡競争を激しくするだけです。核兵器をはじめ、万が一使われたら世界全体が破滅してしまうような兵器を作るために、一体どれだけの財源が使われているのでしょうか。

戦後の日本がどこの国からも攻撃されてこなかったのは、憲法9条で戦力の不保持を掲げているからではないでしょうか。

# 戦争を止めるには?

## 話し合いによって平和なアジアを

東南アジア諸国連合 (ASEAN) は、ベトナム戦争終結以降、武力を使わず平和的に紛争を解決するための話し合いを続けてきました。東南アジア友好条約 (TAC) には現在、日本、中国、アメリカ、ロシアを含め50か国が参加しています。東南アジア非核地帯条約も結ばれています。

武力でなく話し合いで...



## 核兵器・非人道的兵器の禁止

人類と核兵器は共存できません。被爆者をはじめ多くの人々の努力によって、2017年、国連で核兵器禁止条約が決議され、2021年に発効しました。現在、約70か国が批准しています。いまや核兵器廃絶は、世界の流れです。

世界の流れにつながる



私立も含め、高校も無償にしてほしい



## 子育て・教育、 くらしの予算こそ、倍増しよう

政府は、軍事費を年5兆円も増やす一方、社会保障費を削って「少子化対策」にあてるとしています。しかし、もっとも大事なことは、生まれてきた誰もが幸せに生きていくことができるようにすることではないでしょうか。そのためにも、軍事費を増額するのではなく、子育て・教育、くらしにこそ、お金をかけるべきです。

### 軍事費倍増分は、 子どもの権利実現のために 5兆円あれば、これだけできる

子どもの医療費無償化  
年間 約5000億円

学校給食無償化  
年間 約4600億円

高等教育無償化パッケージ  
年間 約1兆8000億円

返済中の奨学金半額免除  
年間 約3兆8000億円



核兵器禁止条約の第2回締約国会議 (写真提供 朝日新聞)